



山口県

これからのまちとくらしを考える子どもワークショップ

基にしたモデル的なプログラム	環境ウォッチングで提案づくり
作成団体	公益財団法人 公害地域再生センター(あおぞら財団)
地域プログラム化メンバー	周南市立三丘小学校、スリーヒルズ・アソシエイツ、人間科学研究所
実証協力校等	周南市立三丘小学校

SDGsの要素	 
ESDの要素	  
能力／態度	  

● プログラムの概要

少子高齢化や過疎化が進み、小学校の存続が危ぶまれている中で、大人は“ずっと子どもがいるまちプロジェクト”を立ち上げ、定住促進等の活動を展開している。しかし、そこにはこれからの地域づくりを担う次世代の参画が課題となっている。そこで、子ども達自身も、自分たちが暮らすまちを探索してみたり、地域の人に話を聞いたりしながら、まちの良いところやなんとかしたいところを探って、こんなまちにしたい！を子どもの目線で大人に提案する。

● プログラムの目標

1. 三丘地域の現状を知ることを通して、地域の魅力や課題、地域と自分のつながりについて実感する。
2. 三丘地域が子どもにとって住みやすい地域になるために何が必要かを考え、協力しながら課題を解決する力を養う。
3. 子どもにとって住みやすい三丘地域にするためのプロジェクトを地元住民に提案する。



タウンウォッチングで地元住民の想いを聴く



こんなまちになったらいいな!をみんなで考える



子ども目線のまちづくり提案を保護者や地元住民に発表

● 参加者の声

- ・ みんなでまちを探検したことが楽しかった。
- ・ 大人も子どももみんなが楽しくできる場所をつくりたい。
- ・ 発表をたくさんの人に聞いてもらえてよかった。プロジェクトをまちの人といっしょにかなえたいと思います。

● プログラムの流れ

1 時間目	私とまちのつながりを考えよう
2 時間目	タウンウォッチングに出かけよう①
3～5 時間目	タウンウォッチングに出かけよう②
6 時間目	タウンウォッチングの結果をまとめよう
7 時間目	こんなまちにしたいを考えよう
8 時間目	こんなことできたらいいなを考えよう
9・10 時間目	提案プロジェクトを企画しよう
11・12 時間目	まちの人に提案しよう